

令和 6年 2月

池田 傑 学位論文審査要旨

主 査 藤 原 義 之
副主査 山 本 一 博
同 磯 本 一

主論文

Pemafibrate dramatically ameliorated the values of liver function tests and fibrosis marker in patients with non-alcoholic fatty liver disease

(ペマフィブラートは脂質異常症を伴う非アルコール性脂肪性肝疾患患者の肝機能検査と線維化マーカーの値を劇的に改善する)

(著者：池田傑、杉原誉明、星野由樹、松木由佳子、永原天和、岡野淳一、北尾苑子、藤岡洋平、山本一博、磯本一)

令和2年 Yonago Acta Medica 63巻 188頁～197頁

参考論文

1. A vein-viewing application enabled detecting abdominal wall varices related to the presence of non-treated gastroesophageal varices: a cross-sectional study

(静脈強調アプリケーションは未治療胃食道静脈瘤と関連する腹壁静脈瘤の検出を可能にする)

(著者：星野由樹、杉原誉明、池田傑、松木由佳子、永原天和、岡野淳一、磯本一)

令和3年 BMC Medical Imaging 21巻 article number 120

2. Pemafibrate ameliorates liver dysfunction and fatty liver in patients with non-alcoholic fatty liver disease with hypertriglyceridemia: a retrospective study with the outcome after a mid-term follow-up

(ペマフィブラートは脂質異常症を伴う非アルコール性脂肪性肝疾患患者の肝機能障害と脂肪肝を改善させる：中期追跡調査による後方視的検討)

(著者：池田傑、杉原誉明、木原琢也、松木由佳子、永原天和、高田知朗、北尾苑子、大倉毅、山本一博、磯本一)

令和3年 Diagnostics 11巻 DOI: 10.3390/diagnostics11122316

3. Newly invented micellized vitamin K2 recovered prolonged prothrombin time under obstructive jaundice in rats with bile duct ligation

(新規開発のミセル化ビタミンK2は、胆管結紮ラットにおける閉塞性黄疸の状況下でもプロトロンビン時間延長を回復させる)

(著者：星野由樹、杉原誉明、池田傑、樽本亮平、松木由佳子、神田努、井山拓治、高田知朗、的野智光、永原天和、岡野淳一、植木賢、孝田雅彦、尾崎充彦、岡田太、磯本一)

令和3年 Journal of Nutritional Science and Vitaminology 67巻 397頁～403頁

審査結果の要旨

本研究は実臨床における脂質異常症を合併した非アルコール性脂肪肝疾患/肝炎 (NAFLD/NASH) 患者への高脂血症治療薬ペマフィブラートの肝障害に対する有効性について後方視的比較検討を行ったものである。その結果、ペマフィブラート内服は体重変化やHbA1cの変化を伴わずに、独立して肝胆道系酵素の有意な低下を認め、その効果は他のフィブラート系薬剤よりも高いことが明らかとなった。さらに、1年以上内服継続例での追加解析を行った結果、ペマフィブラート内服により肝機能の改善は長期間にわたって安定して維持されることが確認された。また高度脂肪肝症例においては長期間のペマフィブラート内服により肝臓の脂肪蓄積も改善することが示唆された。本論文は世界で初めて実臨床におけるNAFLD患者に対するペマフィブラートの有効性を報告した研究であり、明らかに学術水準を高めたと認める。